

黒須としたか

活動レポート

田園海浜文化都市宣言

CROSS通信



無所属44歳

事務所：大網白里町大網33-8サンモア内（トップマート近く、まちサポ向かい）
 電話 0475-73-4126（ナミヨイフロ）自宅電話 0475-73-8615 FAX 0475-70-2666
<http://www.geocities.jp/ooamicross/> Eメール: ooamicross@ybb.ne.jp

葉裁 談合を認定

浄化センター管理業務

町長は違法な公金支出を許さない姿勢をみせよ

住民訴訟で談合が認定

談合により必要以上の公費（私たちの税金）が企業に支払われたことは明らかに町民の利益に反している。町は談合で被った損害を企業に請求せよと求めて、黒須も原告の一人として二〇〇九年に提訴した住民訴訟、下水道浄化センター管理業務に関する「違法公金支出金返還請求事件」の判決が八月一六日千葉地裁で言い渡された。

判決では原告の主張が多く認められ、談合が認定された。損害額も原告の主張していた一部ではあるが一六八万円認められた。

今まで町は談合はなかったとして損害を回復する措置や談合防止策を講じてこなかった。町はこの判決を真摯に受け止め、反省しなければならぬ。

町は不正隠しの姿勢

裁判では、町側は顧問弁護士ら4人がかりで法の素人である原告町民に詭弁を弄してきたが、町側による談合を否

定する証拠はお粗末で、談合企業からの聞き取り調査しかなかった。当然ながらこの証拠は採用されなかった。

町の受けた損害を回復することを求めている裁判にも関わらず、町側は談合企業側と一緒に訴えを門前払いにしてしまう裁判戦術をとった。町の姿勢は、町民の利益や事実の究明とはかけ離れた不正隠しそのもので全くおかしい。税金から顧問弁護士に多額の報酬を払い、さらに裁判の度に3人もの町職員を裁判傍聴に出張させているのは、談合の損害に加え二重三重に税金の無駄遣いだ。

判決後も町は談合を否定

朝日新聞記事では、総務課長は真摯に受け止めるとコメントをしていたが、9月議会における町の公式なコメントは相も変わらず「談合は確認できていない、町の責任はない」の一点張りであった。なぜこども頑なに談合を否定するのか。理由の一つは、他にも談合だらけの入札を隠すためと考えられる。

もう一つは、談合が行われ、損害が確認されたことで責任を追及されることを怖れているのではないか。

談合否定は責任のがれ

裁判で明らかになった証拠は全て住民訴訟の前から存在していたもので、新しいものではない。町が談合を隠蔽していたと言われてもおかしくない所以だ。

今回の裁判では、談合の主犯企業に損害賠償請求をせよという住民側の申し立ては、同社が倒産していることなどを理由に棄却された。しかし、談合の共犯企業は他にも7社ある。これらの企業への損害賠償は既に時効の可能性があるので、そうなるとその責任は町がとらねばならない。

前町長も責任は免れない

談合企業から町が被った損害が回復できなかった場合、町長自らの責任とともに前町長の責任も免れない。町長は、前町長の過失責任分について損害賠償請求する義務を追う。

不正のできないシステムの確立を

首長職は絶大な権力を有している。いつの間にかその環境に慣れ、自分に都合のよい判断をするようになる。タレントの島田紳助氏が暴力団とのつきあいを「自分としてはセーフだと思った」と言っていたが、そうなる前に不正ができないシステムをつくる必要がある。例えば公共事業の受注業者や指名業者と町長が会う際は、職員を同席させ、会話を録取して、町民に公開する仕組みが必要だ。

町長資産公開は配偶者も

現在の町長資産公開はザル法だ。本人名義の土地や定期預金だけでなく、配偶者や同居人の資産、及び普通預金や全ての有価証券など詳細に資産公開すべきだ。

日本一の政治倫理条例を

前町長はファミリー企業が本町の公共事業に深くかかわっていて、多くの住民が政治不信の材料と考えていた。町長が新しくなった今こそ倫理基準の厳しい政治倫理条例を制定する大きな役目がある。

（9月議会質問より）

町長交際費の全面公開を

町長交際費は、町長が認めれば誰にでも、何にでも支出できる。だからこそ、交際費の支出相手先の全面公開が必要なのに、町は相手先個人を公開していない。

先頃全国市民オンブズマンの情報公開ランキング調査が発表された。県内では、トップは流山市の70点満点、東金市はワースト8位の25点だった。町村は調査対象外だが、市になると調査対象になる。



未来に責任を

黒須俊隆（くろすとしたか）プロフィール
 1967(S42)年1月16日生まれ
 大網小卒業、大網中卒業、長生高校卒業
 千葉大学法経学部法学科卒業
 印刷会社サラリーマンを経て印刷店経営
 2003年町議会議員選挙 1511票 2位当選
 2007年町議会議員選挙 1981票 1位当選
 2010年町長選立候補 5712票 4人中次点
 2011年町議会補欠選挙 4255票 1位当選
 家族：妻と息子2人（8歳と5歳）
 趣味：登山・料理・ダイビング・子育て
 さんぶオンブズマン幹事
 九十九里浜の自然を守る会会員